ソーラーサーキット

循環用送風ファン ^{形名} SC-BSF

取扱説明書

お客様用

この製品の運転にはコントロールスイッチが必要です。コントロールスイッチの位置を確認してください。

お客様自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません)

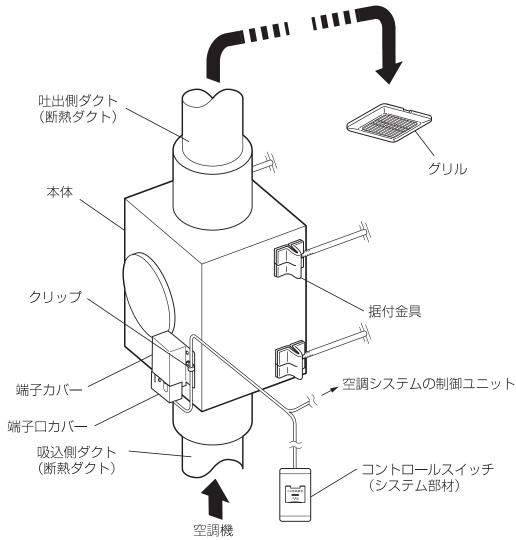
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。 This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.
- ●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ●この製品をベース空調システムの一部でお使いいただく場合、ベース空調システムの詳細については専用の取扱説明書を併せてお読みください。
- ●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、 次の表示で区分して説明しています。 本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

| 次の表示で区分して説明しています。 | | | | 禁止 | 接触禁止 | | | |
|-----------------------|--|--|---|---|------------------------------|--|--|--|
| | | 注意 こた取扱いをしたときに 傷または家屋・家財など 物的損害に結びつくもの | | 分解禁止 | | 使用禁止 日 | | |
| | ■ ▲ 警 | 告 | | | ⚠注意 | | | |
| | ガス漏れに気付し スイッチの入・切 爆発・引火の原因 | | ●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によりけがの原因。 ●高温(40℃以上)や、直接炎のあたるおそれのある場所 | | | | | |
| 水ぬれ禁止 | ●製品に直接水やま をかけない ショート・感電の | 禁止 | ▶ や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用しない 火災の原因。 ●窓や戸の開け放しなど高湿(80%以上)で長時間運転はしない 水が滴下する場合があり、家財の汚損や製品の故障の原因。 | | | | | |
| 分解禁止 | 火災・感電・けた 分解・修理は修理 | 型技術者のいる 販売店 | 送 接触禁止 | | き険ですから、 羽材 | 頭で表面の000岸の床区。 良の中に指や物を入れ | | |
| | にご相談くださし お手入れの際は カーを切る 感電・けがの原因 | 必ず分電盤のブレー | 経営での使用禁止 注意での使用禁止 | 感電・故障 | | | | |
| 0 | ◆交流100Vを使用 火災・感電の原因 | | 感電の原因●お手入れ後 | は必ず電気工事店に]。 後の部品の据付けは)けがの原因。 | | | | |
| 指示に従う | 発煙・発火・感冒 〈異常・故障例〉 | 、 直ちに使用を中止する 電・けがの原因。 国検」をご参照ください。 | 指示に従う | お手入れの 着用しなし 長期間ご使用 |)際は手袋を着用す)とけがの原因。 | 「分電盤のブレーカーを切る | | |

2.各部のなまえと据付例



3.ご使用の前に

●スプレー(殺虫剤・整髪用・掃除用など)をかけないでください。 (グリル・羽根の破損、変質の原因。)

●保守点検口があるか確認してください。(保守点検に必要です。)

- ●循環用送風ファンの据付けは、販売店・専門の工事店が実施しております。据付け完了後、販売 店が試運転を行う際、立ち会ってください。運転手順、安全を確保するための正しい使い方につ いて、販売店から説明を受け、次の事項をお客様自身でも確認してください。
 - ●製品が運転・停止するか。
 - ●異常な音・振動がないか。
 - 給気口があるか確認してください。 (効果的な送風を行うために必要です。)

4.使用方法

運転は壁のコントロールスイッチで運転開始と停止を行います。

- ●空調システムの制御ユニットに接続することで、風量を「強」・「弱」に切り替えられます。
- ●特別な場合(運転異常、点検、お手入れ)を除き、24時間運転してください。

お知らせ〉

- ●電源投入後、羽根が回転を始めるまでに2秒程度かかります。※運転が安定するまでに数十秒かかります。
- 定風量運転中は、運転音が変化する場合がありますが、これは換気風量を適正に確保するための自動運転によるもの であり、異常ではありません。

5.お手入れ

グリルにほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。 約3か月に1度を目安としてグリルの清掃をしてください。



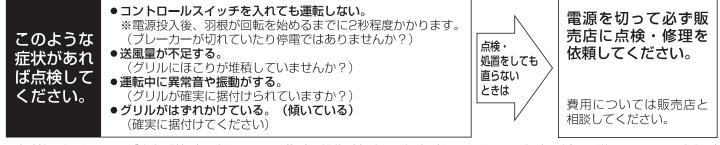
お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。



お手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。

●お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。(中性洗剤をご使用ください) シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学 ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研摩材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など(異常音の発生、変 質、変色、塗装はがれや故障の原因)

6.修理を依頼する前に



※据付場所によってはダクト配管が長くなったり、曲がり部分が多くなる場合があります。この場合、循環用送風ファンへの負担が 大きくなり、羽根の回転数が上がって風切り音が大きくなりますが異常ではありません。

※定風量運転中は、運転音が変化する場合がありますが、これは換気風量を適正に確保するための自動運転によるものであり、異常 ではありません。

7.アフターサービス

■補修用性能部品の保有期間

この循環用送風ファンの補修用性能部品の保有期間 は、製造打切り後6年です。 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するた めに必要な部品です。 長年ご使用いただくためには循環用送風ファンのメ

ンテナンスが必要です。

モーターは消耗部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●お買上げの販売店にご相談ください。

■修理を依頼されるときは

- ●「6.修理を依頼する前に」(3ページ)を参照し、 お調べください。
- ●なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、 必ず分電盤のブレーカーを切ってから、お買上げの 販売店にご連絡ください。

●修理料金は

- 技術料+部品代+出張料などで構成されています。
- ●技術料…故障した製品を正常に修復するための料金です。
- 部品代…修理に使用した部品代金です。
- ●出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

●ご連絡いただきたい内容

| 1. | 品 名 循環用送風ファン |
|----|-------------------|
| 2. | 形 名 SC-BSF |
| З. | お買上げ日 年 月 日 |
| 4. | 故障の状況 (できるだけ具体的に) |
| 5. | ご 住 所 (付近の目印なども) |
| 6. | お名前・電話番号・訪問希望日 |



| 中均雨正 | 定格周波数 (Hz) | 設定 | 定相 | 質量 | | | | |
|---------------|---------------|----|-----------|-------------|---------------------------|--------------|--------------|------------|
| 定格電圧 (V) | | | 電流 (A) | 消費電力 (W) | 風量 (m ³ /h) | 正面騒音 (dB) | 側面騒音 (dB) | 具里 (kg) |
| | | 強1 | 0.5 | 25.8 | 275 | 36 | 37 | |
| 100 | 50-60 | 強2 | 0.58 | 30.8 | 300 | 38.5 | 39 | 10.5 |
| | | 弱 | 0.17 | 7.5 | 150 | 21.9 | 20.5 | |

※特性はJIS C 9603に基づく定格圧損時の測定値です。

※定格圧損は275m³/h時70Paを基準とします。

※騒音値は開放時(吸込音は含まず)1m離れた地点でのAレンジによる値です。

※騒音値は無響室での測定値です。実据付状態では反響音等を含むためこれよりも高くなります。

| 愛情点検 | ☆ 長年ご使用の換気扇の点検を ! | | | | | | | |
|-----------------------|------------------------------|--|---|---|---|---|--|--|
| \bigtriangledown | ご使用の際 このようなことは ありませんか。 | スイッチを入れても羽根が回転しない。 運転中に異常音や振動がする。 回転が遅いまたは不規則。 (モーターはメンテナンスが必要な部品です) こげ臭いにおいがする。 本体据付部に腐食、破損等がある。 | | | | 使用 中止 故障や事故防止のため、電 源を切って必ず販売店にご 連絡ください。 点検・修理に要する費用は 販売店にご相談ください。 | | |
| お客様 | 形 名 | SC-BSF | | | | この製品には地球環境保護の一環 | | |
| | お買上げ年月日 | | 年 | 月 | E | として再資源化ができるように主 なプラスチック部品に材質名を表 | | |
| サービスを依頼され るとき便利です。 | お買上げ店名 (住 所) (電話番号) | (|) | | | 示しています。 材質名は主材料にISO規定の略号 を使用。 | | |

システム開発 資材供給 株式会社カネカソーラーサーキットのお家 〒107-6028 東京都港区赤坂1丁目12番32号